

小学校高学年

～木曾三川を管理する国の取り組み～  
発問計画

2時限目用

# 発問計画・学習教材

## 2 時限目 木曾三川を管理する国の取り組み


本時のねらい（目標）

木曾三川を管理している国（河川事務所）の取り組みを知り、川の整備は地域や川の状況に応じてその地域に合うように施設を作っていることを、「特殊堤」を例に理解する。また、施設を作るだけでなく、点検や管理もしながら洪水から町を守っていることを認識する。

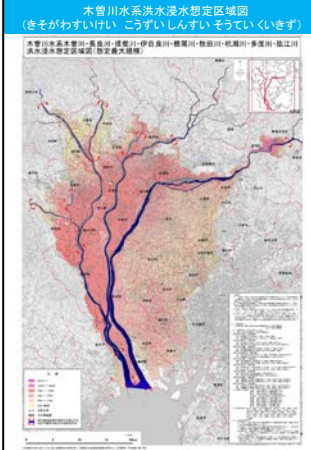
※本資料は長良川を対象とした資料で作成しています。ご自身の地域に応じた資料を適宜お使い下さい

※発問計画の「---」は、予想される児童の発言（児童に伝えたい発言）を示す。

黄色着色部は、国土交通省職員による補足説明音声資料があります。

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
導入 (5分)	<p>1. 長良川を管理しているのが国であることや、その取り組みへの関心度をみる</p> <p>発問： 長良川の岐阜市の中央付近より下流の区間を管理しているのは誰ですか？</p> <p>・国 ・木曾川上流河川事務所 など</p> <p>※この時間は、国がどのように河川の管理をしているのか、また、水害のときにどのような取り組みをしているのかを学習しましょう。</p>	<p>・自由に意見を発言させ、長良川の管理者に関する関心度を確認する。</p>	
展開 (30分)	<p>2. 平常時の河川事務所の取り組み</p> <p>発問： 河川事務所では、普段（水害がないときは）どんな取り組みをしていると思いますか？</p> <p>・堤防をつくっている ・パトロールしている ・水をきれいにする取り組み など</p> <p>解説 ※長良川を管理している木曾川上流河川事務所では、普段は、「河川改修」や「施設の整備や維持管理」などを主におこなっています。（資料1） ※「河川改修」は、過去に発生した水害と同じくらいの洪水が起きても、今度は安全に流下させることができるように、堤防整備、古くなった施設の改築、護岸整備、河道掘削などを実施します。 河川はとても長く、整備には時間もお金もかかります。現在は、まずは</p>	<p>・自由に知っていることを発言させ、事務所の取り組みに関する認識を確認する。</p>	<p>○資料1 事務所の取組（平常時）</p> 

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
	<p>令和 20 年頃までの工事の計画（河川整備計画）を立てて、それを順次進めています。</p> <p>3. 特殊堤について</p> <p>発問： 資料 2 は堤防の一部です。どこの堤防か知っていますか？</p> <p>・忠節橋の方 など</p> <p>※長良川の忠節橋近くの南側で堤防が決壊したら、岐阜市の駅のあたりなど、家や町が密集している地域が浸水して大きな被害となってしまうため、昔からしっかりとした堤防をつくる必要がありました。</p> <p>この堤防の形は、普通の堤防と違って特殊なので、「特殊堤」と呼びます。</p> <p>（資料 3 を示し）通常の堤防は、このように、洪水時の水位よりも高く土を山のように盛ってつくります。</p> <p>（資料 4 を示し）この岐阜特殊堤は、水位があがってきたら、手すりの溝に畳を 1 枚ずつはめ込んで、手すりの高さまでの水を抑えるようにしています。</p> <p>発問： なぜこのような形の堤防にしたのでしょうか？</p> <p>・観光のため ・土を持ってるのが大変だから ・家があって普通の堤防がつかないから など</p> <p>※（資料 5 を示し）普通の堤防をつくるのは、その分幅が必要です。この地域は、昔も家が堤防に沿ってたくさん建っていて、住んでいる人に引越してもらったり、土地を買い取ったりするのが大変でした。また、川側も水深が深く、川側に堤防をつくるのも難しい状況でした。よって、コンクリートで壁のような堤防を作ることにしました。</p> <p>また、柵のようにすることで、普段は川の中が見えるようにして町の景色や観光にも配慮した、全国でも珍しい形の堤防をつくりました。</p> <p>このように、河川事務所では、堤防をつくる場合でも、地域の特徴や川</p>		<p>○資料 2 岐阜特殊堤</p>  <p>○資料 3 通常堤防</p>  <p>○資料 4 特殊堤断面図</p>  <p>○資料 5 通常堤・特殊堤断面比較</p> 

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
	<p>の形などによって、その区間に合った施設をつくるための調査や検討も行っています。</p> <p>※今は、この施設も古くなってきていますが、とても貴重な施設なので、点検をして、きちんと堤防として機能するように必要な場合は修理もしています。</p> <p>(資料6を示し)堤防などが壊れていないかを点検したり、直したりするのも、河川事務所の大切な仕事です。通常の堤防では、点検のために、草刈(除草)もします。また、川の中に木がたくさん生えてしまったところは、洪水時に水が流れにくくなったり、流されて橋にひっかかって橋が壊れるなど危険なので、伐採も行います。切った木はリサイクルしてもらいます。</p> <p>※(資料7を示し)ものすごい量の雨が降って、長良川やその他国が管理している川の堤防が決壊したら、この地図のように、岐阜県だけでなく、愛知県や三重県まで、水没する地域が広がってしまいます。そうならないために、河川事務所では、川を整備したり点検したりすることで、できるだけ堤防が壊れないように、また被害を減らせるようにして、町を守る努力をしています。</p> <p>※しかし、完全に水害が起きないようにすることはできません。水害時は、自分の安全は自分で守ることが必要になってきます。</p>		<p>○資料6 河川維持管理・修善</p>  <p>○資料7 木曽川水系洪水浸水想定区域図</p> 
<p>終末 (10分)</p>	<p>4. 学習内容の振り返り、授業のまとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>授業のまとめ(例):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の整備は、地域や川の様子によってその地域に合った施設をつくっている</li> <li>・河川事務所は、川を整備するだけでなく、点検や直したりして、町を水害から守っている。</li> </ul> </div>	<p>・学習でわかったこと、考えたことをワークシートに記入させる。</p>	<p>○ワークシート</p> 